関西電力グループの価値創造プロセス

関西電力グループは、グローバルな社会課題や環境変化を的確にとらえたうえで、これまで培った強みを活かし、新たな価値をお届けすることで、当社グループが「持続可能な未来社会の実現を支える共通基盤」の主要な担い手として、お客さまと社会のお役に立ち続けていきます。

※価値創造プロセスは、現在の中期経営計画の内容を表したものであり、今後、中期経営計画の見直しに合わせて、価値創造プロセスについても見直しをおこなってまいります。現在、コロナ感染拡大等を踏まえ、中期経営計画の見直しを検討しているところであり、事業環境の変化や投資効率に応じて、適切に資源配分をおこない、柔軟に事業ポートフォリオを見直していくこととしています。

事業環境の変化
- 自由化による事業者間競争の激化
- 省エネ進展、脱炭素化に向けた社会的機運の高まり、新市場の創設
- デジタル化などの新技術の進展と社会ニーズの多様化
- 人材不足、働き方改革の進展などによる企業ニーズの変化

社会的課題
- 地球温暖化
- 自然災害
- 天然資源の枯渇
- エネルギーの安定確保
- 新型コロナウイルスなど伝染病への対応
- 人口減少、少子高齢化
- 低経済成長

INPUT

財務資本
- 経常利益 …… 2,115億円
- 自己資本比率 …… 21.0%
- ROA …… 3.2%

製造資本
- 拠点…… 事業所 1,313ヵ所
- グループ企業 …… 157社
- 発電設備 …… 167ヵ所 3,059万kW
- 送電、配電設備

知的資本
- 安全・安定供給、品質にかかわる技術力・ノウハウ
- 水力発電開発の経験
- AI技術、ビッグデータ
- エネルギーマネジメントの知見・ノウハウ
- イントレプレナー（社内起業）創出制度

人的資本
- 連結従業員…… 31,850人
- 単体従業員…… 18,141人
- DX人材、グローバル人材

社会関係資本
- お客さまとの信頼関係
- 幅広いグループ事業を通じた電力販売以外の顧客基盤
- 関西地域との強固なつながり
- サプライヤーとの協力関係

自然資本
- 発電用燃料
- 発電用水

強み

01 非化石電源
- CO_2フリー発電量国内NO.1
- 原子力発電・再生可能エネルギーの設備設計・保守運転のノウハウ
- 再生可能エネルギー大量導入に伴う調整力、次世代ネットワーク

02 ソリューション力
- グループ事業で培ってきたエンジニアリング力
- エネルギーマネジメントの知見・ノウハウ

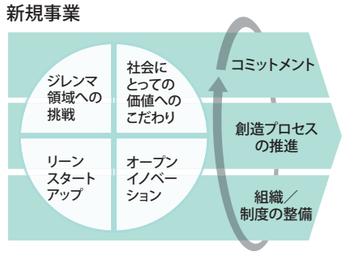
03 グループ総合力
- グループ事業で培ってきた知見・ノウハウ
- 幅広いグループ事業を通じた電力販売以外の顧客基盤

04 デジタル化への先手を打った対応
- 専門委員会（DX戦略委員会）の設置
- デジタル子会社K4 Digital(株)の設立など

関西電力グループのマテリアリティ（リスク・機会に対応していくための重点課題を整理）

事業活動

- 総合エネルギー・送配電事業（電気事業／ガス・その他エネルギー事業）【国内外】
- 情報通信事業
- 生活・ビジネスソリューション事業
- 新規事業



上記取組み推進の 原動力

DX
- 専門委員会での迅速な意思決定
- K4 Digital(株)による取組み支援
- デジタル人材の育成

経営基盤の強化

関西電力グループの確固たる価値観

OUTPUT

- 発電・電気の供給
- 都市ガスの製造・供給
- インターネット接続サービス
- 不動産/生活サポート/金融/ヘルスケア/ビジネスソリューション
- 新事業サービス
- 新事業サービス
- 既存事業の変革 "eモビリティ"ビジョン

社会に対する提供価値 OUTCOME

持続可能な未来社会の実現を支える共通基盤

「安全最優先」と「社会的責任の全う」
- 安全・安定供給の責務を果たす
- 経営基盤の強化に取り組む

「低炭素」のリーディングカンパニーとして、気候変動問題への対応をはじめ、環境負荷の低減に取り組む

これまで培ったソリューション力を活かして、「安心・快適・便利」で経済的なエネルギーサービスを幅広く届ける

グループ総合力を発揮して新たな事業・サービスを創出し、お客さまや社会の幅広い課題の解決に貢献する

SDGs等社会課題の解決

新たな価値の創出に向けて、デジタルトランスフォーメーション（DX）を実現します。
- 遠隔巡視・点検
- スピード感ある働き方
- VPPの開発など、分散エネルギー源の活用
- 高度なエネルギーマネジメントなどの設備の保守・保全サービス
- RPAなどによる定型業務の自動処理
- テレワークなど柔軟な働き方
- EV・PHVなどの活用

- 人財基盤の強化
- コスト削減のさらなる推進
- コンプライアンスの推進
- アライアンスの積極的推進
- SDGs・ESGへの取組み

（経営理念、グループビジョン、私たちの基本姿勢）

企業価値の向上

財務資本
- 経常利益 3ヵ年平均（2019-2021）…… 2,000億円以上
- 自己資本比率 …… 20%以上
- ROA 3ヵ年平均（2019-2021）…… 3.0%以上

製造資本
- 「非化石電源（原子力、再生可能エネルギー）」の強み確立
- 再生可能エネルギーのさらなる開発・活用 2030年代に設備容量 …… 600万kW
- 国内外での新規開発……200万kW以上

知的資本
- 社会課題解決に資するイノベーションの実現や研究開発活動の推進
- 電力ビジネスモデル変革による新事業領域・機会の拡大

人的資本
- 誰もが能力を最大限発揮できる環境を整備
- 女性役職者比率および女性管理職者数 2030年度末までに2018年度の3倍以上
- デジタル人材、グローバル人材のさらなる育成

社会関係資本
- 暮らしとビジネスのあらゆる面におけるサービスラインナップの拡充
- 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

自然資本
- CO_2フリー発電量国内No1であり続ける
- 2030年度に国内発電事業に伴うCO_2排出量を半減（2013年度比）